

# 群馬

## 「学校経営サロン」のお誘い

### 学校経営サロンとは

学校経営サロンとは、現職の先生方と大学教員が、学校経営について自由に語る場をつくるために設けられました。「サロン」と命名した理由は、「研究会」のように堅苦しくない雰囲気の中で、日頃感じていること、考えていることなどを、ざくばらんに語る場を設けたいという思いがあったからです。

日々の教育実践、あるいは実践をしていく中で感じている疑問など、他校の先生方や大学教員と語り合いませんか。様々なバックグラウンドを持つ参加者と語り合うことで、日々の実践に対する新しいヒントが得られるはずです。もちろん、費用はかかりません。

### 学校経営サロンの目的

サロンの主な目的は、広く学校教育全般にわたって、日頃感じている悩みや問題点などを忌憚なく語り合うことです。また、以下のようなことも考えられます。

- ✓学校教育の研究・実践についての大学と学校現場との継続的交流と促進
- ✓教育実践に関する情報交換
- ✓参加者の研究・教育実践上の力量向上
- ✓参加者間のネットワークの構築

### 学校経営サロンの活動

○日時：毎月第4水曜日、19：00～20：30

○場所：群馬大学教育学部附属学校教育臨床センター（群馬大学荒牧キャンパス、B棟B102教室）

○内容：基本的には、参加者からの話題提供をもとに、それについて自由に議論をしたり、助言し合ったりという方法で進行していきます。研究や実践報告、書籍の紹介など、テーマは自由に設定していきます。

○対象：幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等に勤務する教職員、教育に関心がある方など（中堅、若手の先生方のご参加をお待ちしております）。

○参加費：無料

### 問い合わせ先

○黒羽正見(附属学校教育臨床総合センター教授)【kuroha46@gunma-u.ac.jp：027-220-7386】

○高橋 望(大学院教育学研究科<教職大学院>准教授)【t-nozomu@gunma-u.ac.jp：027-220-7374】

☆当日の参加も歓迎いたします。気軽にお問い合わせください。

サロンの開催状況等、詳細については、群馬大学教育学部附属学校教育臨床総合センターのホームページでお知らせしていきます。ぜひご覧ください。

★<http://center.edu.gunma-u.ac.jp/index.html>★



☆最新情報はホームページでご確認ください☆

## これまでの活動

学校経営サロンは平成27年度より開始されました。平日の夜にもかかわらず、前橋市内だけでなく、高崎、藤岡、桐生、伊勢崎、吾妻、利根など、県内各地からご参加いただきました。また、現職の校長先生や指導主事の先生、50代から初任者まで、幅広い年齢やキャリアの方々にご参加いただきました。

「学校経営という難しいイメージがあったが、参加したらそんなことは全くなかった」とおっしゃる先生方も多くいらっしゃいました。若手の先生方も、最初こそはなかなか発言も見られませんでした。次第に積極的に参加される様子も見られました。

ご参加いただいた先生方からの要望も踏まえ、これまでに設定されたテーマは以下の通りです。

「学校組織とは？」	「学び合う共同体」	「今、学校が抱える課題とは？」
「校内研修における授業検討会のあり方」	「協働のあり方」	「職員室の雰囲気」

ある参加者の言葉です。

「初めはなかなか難しい内容だと思っていたのですが、各学校でのちょっとした話をうかがっていると、世界が広がるなと感じました。また明日から職場で頑張ろう、と思えるようになれました。」

先生方が少しでも元気になれるよう、サロンをご活用いただければ幸いです。

## 参加者より

### 学校経営サロンでの出会い

藤岡市立小野小学校 藤巻直子

学校経営サロンで多くの方に出会うことができました。大学教員である研究者と呼ばれる方々。校長、指導主事、ベテランから採用一年目まで幅広い年齢層の先生方。勤務地も県内各地、各校種にひろがっています。さらには、教育学部の学生やニュージーランドの初等学校の校長先生まで…。一日の勤務を終えた後の平日の夜に、こんな方たちと出会えるなんて、何だか得した気分になります。大学と学校現場というそれぞれのフィールドを越えて、人と人がつながることのよさを実感しました。そうした人々との出会いは、自分が当たり前だと思っていたこととは違う現実や違う見方に触れる機会をもたらしてくれます。時には、「私はそうは思わないな。」という意見にも遭遇します。しかし、自分とは違う意見に触れることは、「違う」と感じる自分の価値観との出会いでもあるのだと思いました。

「学校経営」というと、管理職の先生方が行うものというイメージがあります。でも、本当はすべての教職員がそれぞれの持ち場で取り組んでいることが、「学校経営＝学校づくり」につながっているのだと思います。一緒に楽しくおしゃべりする中で、「今いるところをもっとよくするための工夫」について考えてみませんか。サロンでお会いできることを楽しみにしています。

